

山形県林政連絡会を開催しました

令和5年7月25日(火)、山形市の山形県自治会館会議室で令和5年度山形県林政連絡会を開催しました。この会議は、民有林と国有林の連携を深め林政を巡る諸問題に関する情報や意見を交換するため東北森林管理局管内5県でそれぞれ開催しているものです。

当日は、山形県から齋藤農林水産部次長、福井森林ノミクス推進課長、横倉森林研究研修センター所長、各総合支庁森林整備課長等が、東北森林管理局から小島次長、各森林管理(支)署長、朝日庄内森林生態系保全センター所長等が出席し情報や意見を交換しました。

テーマとして設定した「地域連携強化に向けた人材育成のあり方」については、国・県双方から、森林総合管理士人材の育成・活用の状況を説明し、人材育成における両者の連携の方向について意見を交換しました。国有林に対しては、自らフィールドを所有して各種事業を展開しながら、新技術にチャレンジしていけることが「強み」であり、国有林でのトライ(アンドエラー)に期待するとともに、取組をいかに民有林の現場に定着させていくかがポイントの一つになるとのご意見がありました。

また、人材育成については、

- ・ 業務の相手方が県では森林所有者、国では事業受注者であるといった特質を活かしながら交流を深めることにより、様々な知見を得て互いに「『地域課題の解決』に向けた人材」を育成していけるのではないかと
 - ・ 地域において森林・林業等の課題に対応している組織として、例えば、松くい虫対策に携わる者どうしでの情報交換や、治山事業のそれぞれの現場見学といったことを通じて、「各業務における職員のスキルの向上」を図れるのではないかと
- といったご意見を伺うことができ、今後の両者の連携について具体的なイメージも持つことができました。

今後とも、引き続き、地域の民有林行政・研究機関等との連携を進めながら、課題の解決に取り組んでまいります。

